

事業用トラックの飲酒事故事例（令和2年1月～10月22日）（速報値）

出典：メールマガジン「事業用自動車安全通信」（国土交通省）等

No.	事故等の種類	車籍地	発生日時	死傷状況		当時の状況
				死亡	負傷	
1	酒気帯び衝突	千葉県	1月20日 9時45分			千葉県の県道の交差点において、同県に営業所を置くトラクタ・ポルトレーラが運行中、信号待ちで停車中の軽乗用車に衝突した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察による調べにより、当該トラクタ・ポルトレーラ運転者は、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。
2	酒気帯び追突	大阪府	1月31日 10時10分	1		茨城県の県道において、大阪府に営業所を置くトラックが運行中、前方を走行中のトラックに追突した。 この事故により、追突されたトラックの運転者が軽傷を負った。 事故後の警察による調べにより、当該トラック運転者は、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。
3	酒気帯び物損	鳥取県	2月10日 17時20分			千葉県の神社敷地内において、鳥取県に営業所を置くトラクタ・バンセミトレーラが方向転換をしようとしたところ、当該神社の建物に接触した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察の調べにより、当該トラクタ・バンセミトレーラ運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。
4	酒気帯び追突	東京都	3月17日 21時10分	1		愛知県の国道において、都内に営業所を置く大型トラックが運行中、前方の乗用車に追突し、その弾みで当該乗用車が別の乗用車に追突した。 この事故により、当該トラックに追突された乗用車の運転者が死亡した。 事故後の警察の調べにより、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。
5	酒気帯び物損	宮城県	4月4日 20時55分			岩手県的高速道路において、宮城県に営業所を置くトラックが運行中、中央分離帯のワイヤーロープに衝突した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察による調べにより、当該トラック運転者は、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。
6	酒気帯び路外逸脱	山形県	4月22日 1時40分			山形県の県道において、同県に営業所を置くトラックが運行中、路外に逸脱し水田に転落した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察の調べにより、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。
7	酒気帯び衝突	大阪府	4月24日 8時58分	1		兵庫県の国道において、大阪府に営業所を置くトラックが運行中、前方のバイクを追い越そうとしたところ、接触し当該バイクが転倒した。 この事故により、当該バイクの運転者が軽傷を負った。 事故後の警察の調べにより、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。
8	酒気帯び物損	佐賀県	4月29日 0時50分			佐賀県の県道において、同県に営業所を置くトラクタが運行中、道路脇の無人の車庫に衝突した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察の調べにより、当該トラクタ運転者は、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。
9	酒気帯び物損	愛媛県	5月2日 18時40分			千葉県の駐車場において、愛媛県に営業所を置くトラクタ・コンテナセミトレーラが運行中、当該駐車場のポールに衝突した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察の調べにより、当該トラクタ・コンテナセミトレーラ運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。
10	酒気帯び物損	香川県	5月10日 13時			大阪府の高速道路において、香川県に営業所を置くトラックが運行中、左側フェンスに衝突した。 この事故により、荷物は散乱したが、負傷者はなし。 事故後の警察の調べにより、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出された。

	事故等の種類	車籍地	発生日時	死傷状況		当時の状況
				死亡	負傷	
11	酒気帯び衝突	福島県	5月11日 15時30分		1	静岡県の国道において、福島県に営業所を置く大型トラックが運行中、前を走行していた車両に衝突した。 この事故により、衝突された車両の運転者が軽傷を負った。 事故後の警察の調べにより、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。
12	酒気帯び衝突	新潟県	5月12日 7時55分			群馬県の高速度道路のパーキングエリア内において、新潟県に営業所を置くトラックが運行中、駐車中のトラックに衝突した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察の調べにより、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。
13	酒気帯び物損	鹿児島県	5月19日 6時10分			宮崎県の国道において、鹿児島県に営業所を置くトラクタ・トレーラが運行中、ガードレールに接触した。 この事故による負傷者はなし。 現地にいた他のドライバーから警察の事故処理の様子が普通では無いとの連絡を受け、当該トラクタ・トレーラ運転手へ再度確認したところ、飲酒が発覚したとのこと。
14	酒気帯び衝突	福岡県	5月26日 17時55分			岡山県の市道において、福岡県に営業所を置くトラックが運行中、行き違いの為停車していた軽貨物車両に接触した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察の調べにより、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。
15	酒酔い衝突	千葉県	6月2日 5時27分		1	千葉県の国道（片側2車線）において、同県に営業所を置く大型トラックが第2通行帯を運行中、前方の第1通行帯を走行していたトラクタ・セミトレーラに衝突したが、そのまま走り去った。 この事故により、トラクタ・セミトレーラの運転者が軽傷を負った。 その後の警察の調べにより、当該大型トラックの運転者は、酒酔い運転及び当て逃げの疑いで逮捕された。
16	酒気帯び路外逸脱	新潟県	6月10日 7時10分			福島県の国道において、新潟県に営業所を置くトラクタ・コンテナセミトレーラが運行中、路外へ逸脱し横転した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察の調べにより、当該トラクタ・コンテナセミトレーラ運転者の呼気からアルコールが検出された。
17	酒気帯び路外逸脱	青森県	7月3日 3時40分			新潟県の市道において、青森県に営業所を置く大型トラックが運行中、後退していたところ、路外に逸脱した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察の調べにより、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。
18	酒気帯び物損	山形県	7月21日 11時0分			埼玉県の国道において、山形県に営業所を置く大型トラックが運行中、信号柱、ガードレール及び道路標識に衝突した。 この事故による負傷者はなし。 その後の警察の調べにより、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。
19	酒気帯び物損	福岡県	8月10日 21時19分			福岡県の高速度道路において、同県に営業所を置く大型トラックが運行中、道路工事の車線規制の為に設置されていたガードレールに衝突した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察の調べにより、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。
20	酒気帯び衝突	埼玉県	8月13日 4時40分		1	東京都の片側2車線の都道において、埼玉県に営業所を置くトラクタ・コンテナセミトレーラが第1通行帯を運行中、左側から追い越し前方に入り込んできたバイクに気付かず衝突し、バイク運転者が後続の車両にはねられた。 この事故により、当該バイク運転者が死亡した。 事故後の警察の調べにより、当該トラクタ・コンテナセミトレーラ運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。
21	酒気帯び衝突	秋田県	8月28日 4時10分			山形県内の駐車場において、秋田県に営業所を置く大型トラックが、駐車する際に屋外灯鉄柱に衝突した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察の調べにより、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出された。

	事故等の種類	車籍地	発生日時	死傷状況		当時の状況
				死亡	負傷	
22	酒気帯び衝突	熊本県	10月22日 3時00分			福岡県の市道において、熊本県に営業所を置く大型トラックが運行中、路肩に停車中の大型トラックに衝突した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察の調べにより、当該トラック運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕された。